



平成29年12月8日（金） 発行

朝夕ぐっと冷え込んで寒い日が続いています。感染症が流行りやすい12月は、気温や体調に気を付けながら子どもたちが快適に過ごすことができるようにしたいと思います。


12月15日（金）はひよこぐみの子どもたちにとって初めての生活発表会があります。お名前を呼ぶと「はい」と手をあげたり、音楽に合わせて身体を動かしたりすることが上手になりました。この可愛い姿を保護者の方に見ていただきたいと思っています。

### お兄さん、お姉さん

先日、槻田小学校5年生との交流会があり、ひよこ組にも5名の小学生が遊びに来ました。初めはお互い距離があり、子どもたちは少し離れた場所で「誰だろう…?」「少し気になるな…」という表情で見えていました。小学生たちがひよこ組の子どもたちの名前を呼んだり、目線を合わせて「かわいいね」と話しかけたりしていくうちに少しずつ距離が縮まり、膝の上に座ったり、一緒にままごと遊びをしたりしていました。小学生の膝の上が心地よくそのまま寝る子どもや、普段保育士には見せないような少し照れている表情を見せる子どもなど、新しい子どもたちの一面を見ることができました。帰る際には、子どもたちも「バイバイ」「タッチ」と手を合わせ、お別れを惜しんでいたりしていました。



重なっている玩具を“壊す・倒す”という遊び方から“重ねる”という遊び方に少しずつ変わってきています。レゴブロックでは土台に長方形や正方形のブロックを重ねていっています。指先を上手に使いながら重ねていき、できた時には嬉しそうな表情で保育士を見ています。



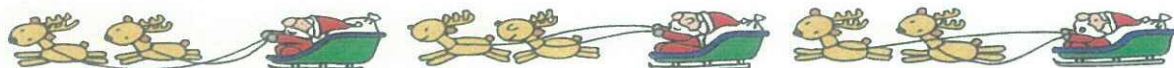
今年も残りわずかとなりました。保護者の皆様からご理解と温かいご支援を頂いて、保育士も子どもたちと一緒に育っています。来年もよろしくお願ひいたします。

0歳児担任：福岡・齊藤・道畑・井上



平成29年12月8日(金)

早いもので今年も残すところあと僅かとなってきました。風が冷たくなり日に日に寒さが増してきました。登園してきた子どもたちに「おはよう」と微笑みかけ「お外寒いから冷たいね」と話しかけると「うん、お外寒かったよ」等と言葉のやりとりを楽しむ子どもたちです。寒い日が続きますが、体調に気を付けながら子どもたちが快適に過ごせるようにしていこうと思います。



### ★ クリスマスツリー 🍷

先日、2階の廊下にクリスマスツリーを飾りました。子どもたちはクリスマスツリーにすぐに気付き目を輝かせて触ったりしてクリスマスツリーから離れられずずっと見ていたれんちゃんとまなみちゃん。ツリーに飾っているりんごの飾りを見て食べる真似をしながら、「おいしいね〜」「あまい」「すっぱい」と表情を頬に浮かべてきらきら星の歌を歌っていました。



### 小学生との交流会

先日、槻田小学校の5年生が保育園に遊びに来てくれました。すみれ組は、わらべうた遊びを通して小学生と触れ合ったり、一緒にボール遊びをしたりトランポリンやすべり台などで遊びました。初めて会う小学生のお兄さん、お姉さんに人見知りしている子どもも、一緒に過ごしているうちに徐々に慣れて、一緒に遊んでもらった小学生が帰る時は「バイバイ」「ありがとう」「また来てね」とお別れの挨拶もできました。





## ちゅうりっぷだより

平成29年12月13日(水)

「たきび」の歌と共に、北風がピーポーと吹いてくるようになりました。園庭の桜の葉っぱは寒さに耐えられずブルブル震え落ちて、冬支度を始めています。

子どもたちは床暖房の入った部屋にはいると、「あったかい」と言って冷えた手を床につけて温めたあとは、友だちのほっぺをつつきながら♪つつきましょ ぽこぺんだあーれ♪とわらべうた遊びが始まります。子どもたちの好きなふれあい遊びやわらべうた遊びなどを通して、子どもの豊かな感性が育ち、あそびの世界が広がるように環境を工夫しています。これからは、子どもが想像し表現する力の育ちを支えていくようにしたいと思います。

### ～自分でしようとする気持ちに寄り添って～

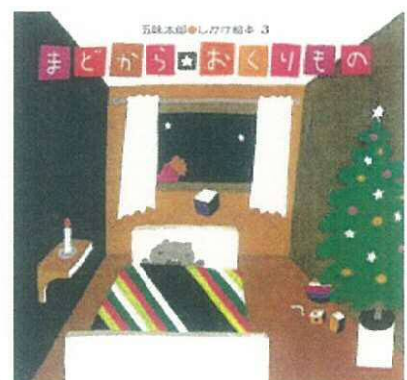
外遊びが大好きな子どもたちは、外へ出るのがわかると、ジャンパーを取って自分で着ようとしています。「自分でやりたい」という気持ちが出てきていますが、うまくファスナーが留められなかったり、ボタンがうまくできなかったりします。そんな時は、すぐに手を貸さずに「自分でしようとする」気持ちを受け止め、子どもの様子を傍で見守り、言葉をかけています。子どもたちから「して」「できない」などの様子や声があがると、その子に合った援助をしながら、「できた」という達成感が少しずつ味わえるようにしています。子どもの「やりたい」という気持ちに保育士は共感し、寄り添う言葉をかけながら、子どもの意欲が高まり、自信へとつながっていくように願っています。



### \*お昼寝まえに読む大好きな絵本の紹介\*

「まどからおくりもの」作・絵 五味太郎

五味太郎の仕掛け絵本シリーズ三作品目のこの絵本です。みんなの家の「窓」の部分が穴あきのしかけになっていて、ページをめくるごとに窓から色々な模様が見えます。その模様を子どもたちが、想像しながら動物の名前を言っています。思っていた動物と違っていた時は、ちょっとがっかりとした表情になります。ページをめくるたびに子どもの表情がころころとかわり見ていて思わず微笑んでしまいます。



ちゅうりっぷ組 桑原 唐木



H29.12.8(金)

### 「もう寒くないよ！」

子どもたちがクラスの窓から、おひさまの日差しが雲の切れ間から差し込んでいるのを見て、「せんせい今日はお天気になるよ、見て！おひさまが出てきてる」「じゃあ、お外で追いかけてこしようよ」と園庭にでました。追いかけてごっこ、ボール蹴り、カンボックリ等遊びを見つけていると、滑り台の方から「みんな、テントウムシがいるから来て」とあいりちゃんの声でみんなが駆け寄っていきました。見ると雑草の葉のところにテントウムシがいて、子どもたちはテントウムシを囲むように頭を突き合わせ話し始めました。「僕たちがお外にいるから土の中から出てきたのかな」「生活発表会見に来たのかな」「寒くないかな」など想像しながら友だち同士で話していると、ゆいとくんが「僕たちもジャンパー着てるからテントウムシも温かくしてあげようよ」と言うと、子どもたちは園庭の落ち葉を拾い集めてお布団をつくりはじめました。「よし！これで寒くないね」と言って、お部屋に入るまで子どもたちは、やさしい思いやりの気持ちを込めて、楽しい空想の世界に浸っているようでした。



### 冬の生活習慣が身につくように

感染症の流行が気になる時季です。子どもたちは、マラソンや外遊びから戻ったら、うがいや手洗いをしています。保育者が見ていないときちんと手を洗わなかったり、うがいも雑になってきているので、絵本などで、うがいや手洗いの大切さを知らせていくようにしています。また、戸外と室内との温度差などがあるので活動による衣服の調整や、上着の片付けなど生活習慣が身につけてきています。自分から手洗いやうがいをしたり、自分で鼻をかむ経験を支えながら、環境構成を工夫していきたいとおもいます。



#### サンタクロースさん きてくれるかな？

クリスマスにちなみ、落ち葉や松ぼっくりなどの自然物で、ツリーをつくり、紙皿や画用紙でサンタクロースとトナカイをつくりました。製作をしながら、「サンタって遠いところにいるんだよね」「夜寝ると来るんだよ」とサンタクロースについて子どもたちは楽しい会話をしていました。

クリスマスの作品で飾られているツリーやサンタクロースを見ながら「あと何回寝たらサンタさんくる？」と、今か今かとクリスマスの日を待ちわびています。



ばばあちゃんの  
クリスマスかざり  
福音館書店

クリスマスになると部屋の中もクリスマスの雰囲気になり飾りたくなる。そんなときに読みたい本です。ばばあちゃん自身がクリスマスの飾りを作ることを楽しみにしていることが表紙の表情と材料を運ぶ嬉しそうなお顔でわかり、こちらまで微笑んでしまいそうな絵本です。

こすもす組担任：崎野・河内

# ひまわりだより



平成29年12月8日（金）

## 「さるかに合戦がしたい」

色々な表現遊び「どうぞのイス」や「畑のポルカ」等を子ども達と楽しむことができました。その中でも「さるかに合戦」の表現あそびの中では、子ども同士でセリフを言い合ったり、「カニの仲間がさるをやっつけたいよ」と、いきいきと遊んでいました。

表現遊びをしている時は、動きが小さかったり、セリフのタイミングが合わなかったり、なかなか上手くいかない時がありました。どうしたら良いか考え、たんぼ組の劇の練習を見に行く事にしました。たんぼ組の劇が始まると、表現や分かるセリフの言い方など、子ども達はしっかり見入っていました。たんぼ組の劇を見てからは、子ども達が自分たちの劇に取り組む姿勢が変わったように思います。自分の順番を意識して今まで以上に意欲的に取り組むようになって来ました。「こんなのはどうかな？」等、活発な発言が多くなりました。皆で協働してでき上がったさるかに合戦を、生活発表会でお家の人に見ていただけることを楽しみにしている子どもたちです。



## おひさまの家に遠足に行ったよ

11月29日、秋の遠足でおひさまの家に行きました。当日は、朝から雨で肌寒かったのですが、天候を気にせず遊べるように、室内で体育遊び、製作、的あて等コーナー遊びが計画されていました。体育遊びは、大きな滑り台があり、大興奮でした。子ども達は「大きい滑り台だね」と何度も滑って楽しみました。又、大型パズルを完成させたり、モンスターを倒すため何度もボールを投げたりしました。園の活動とは、違った遊びもあり大満足の子も達で、保育園に帰る時になると、おひさまの家の職員の皆さんに、「今日は楽しかったです。又、遊びに来ます」とお礼を言って、帰りました。とても楽しい1日となりました。



## 寒さに負けないぞ

子ども達は、寒い日でも園庭で、「けいどろ」等の鬼ごっこをして遊ぶのを喜んでいます。

以前は、保育士が誘導しながら遊んでいましたが、今では、子ども達同士でルールや遊び方を決めてみんなで守って遊ぶようになってきました。

今年も、残りわずかとなりました。4月から、子どもたちと過ごして来て、子どもたちは、やさしくて、思いやりがある子ども達に育ちました。こんな子どもたちと過ごす日々を、大切にしています。

保護者のご協力には感謝しています。ありがとうございます。来年もどうぞ、よろしくお願い致します。

4歳児担任：草場・今丸



### 「かたあしだちょうのエルフ」

今年の生活発表会のテーマは“生きる喜び”です。どのようにして、子どもたちと“生きる”ってどういうことなのか考えていこうと悩んでいるときに、おのき かくの『かたあしだちょうのエルフ』という本に出会いました。

アフリカの草原に住む、強くて優しい大きなダチョウのエルフは、動物たちにとっても人気があり、エルフもまた、動物たちのことが好きでした。ところがある日、ライオンがやってきて動物たちに襲いかかります。エルフは激しい戦いの末、ライオンを追い払い動物たちを守り抜きますが、大切な足の片方を失ってしまいます。初めはエルフのことを気遣っていた動物たちも、次第にエルフのことを忘れていき、エルフはやせ衰えてしまいます。そんなある日、今度はクロヒョウが動物たちに襲いかかります。エルフは逃げ遅れた動物を背負い、最後の力を振り絞ってクロヒョウと戦います。そしてついにクロヒョウが逃げていき、動物たちがお礼を言おうとすると、そこにエルフの姿はなく、代わりにエルフと同じ格好をした大きな一本の木が立っていました。エルフは木に生まれ変わり、いつまでも動物たちを見守っているのです。

このお話を読んだとき、子どもたちは「エルフかわいそう」「自分がエルフだったら、怖くてにげてしまうかも…」「すごく悲しいお話だね」とみんなを守ったエルフが忘れられていき、死んでしまったことを悲しんでいました。しかし、相手を思う気持ちの大切さや誰かのために尽くす優しさや勇気に気づくと「動物たちのために、怪我をしても戦うエルフって本当にすごい」「エルフはいなくなってしまったけど、ずっとみんなの胸の中にいるんだよね」と死んでしまってもなお、みんなの心に生き続ける“命”に胸を熱くさせ話をしていました。

劇遊びを進めていくなかで、それぞれがアイデアを出し合いながら、熱い思いを持って役になりきり、表現をしています。生活発表会では、子どもたちの懸命な姿と温かい思いやりの心を皆様に届けられたらと思います。

### 「感謝の気持ち」

先月、消防訓練がありました。「火事の時、火の中に入って怖くないのかな」「消防士さんも危ないのに、そんなところから人を助けるって私たちにはできない」と人の命を守ることをの大変さを話していました。「消防士さんが一生懸命みんなのことを守ってくださっているから、私たちも安全に過ごせてるんだよね。」とみんなのために働いてくださっている方がいるということに感謝の気持ちを持ち、「みんなの命を守ってくださってありがとうございます」「消防士さんも命を大切に、これからも頑張ってください」とそれぞれが日頃伝えることのできない思いを伝えていました。

子どもたちには、これからも感謝の気持ちを忘れずに、成長してもらいたいと思いました。



今年も残りわずかとなりました。子どもたちは、年長児としてさまざまな行事や経験を通して、生きる喜びと共に、強くて優しい思いやりの心を持った素敵な子どもに育ちました。保護者の方々のご協力に感謝しています。ありがとうございました。

来年もどうぞ、よろしくお願い致します。